

# 総務文教委員会

令和3年12月16日(木)  
時分～時分  
(議会運営委員会終了後)  
第1委員会室

【委員】 永見委員長、三浦副委員長  
肥後委員、大谷委員、芦谷委員、佐々木委員、西田委員

【委員外】

【議長団】

【事務局】 下間書記

---

【議題】

1 今後の取組課題等について(委員間で協議)

2 その他

	肥後委員	大谷委員	芦谷委員	佐々木委員	佐々木委員	西田委員	三浦副委員長	三浦副委員長
①政策テーマ	DX(デジタルトランスフォーメーション)の導入で教育力向上	市内県立学校との連携強化策について	市民の市政参加の制度づくり	あいのりタクシー事業の推進	子どもの学校での居場所作り	住んで良かったと思える定住環境について	ダイバーシティの推進	公民館のあり方
②提案の趣旨(目的)	子供の活字離れの声を多方面から聞きます。教科書をひたすら読む事も大事ですが、スマホ・タブレット・PCから『知る』楽しさを引きつけ、より詳しく『学ぶ』必要を感じた時に先生が『教える』事で、学習意欲の向上と理解が深まるものと思われまます。教育環境(今の子供達)の変化に合わせて柔軟且つ迅速に教育モデルを変更する事で教育力向上に繋がります子供達の学力も上がるものと思います。	県立学校は所管が異なるとはいえ在学している生徒の大半は浜田市民である。市外への人口流失抑制やUターンの意識向上など市の施策を具現化する上での連携や場合によってはの支援もより強くする必要があるので	市民の政治離れが進み、市政への関心が低く、市が行う施策、事業などへに対する参画が十分に得られず、施策や事業の成果があがっていない現状にある。市政を市民のものとし、市政への求心力を高める必要がある。このため市民が市政に参加する、参加しやすくなるよう、市民の役割、行政の対応、議会の関与など、具体的な手続きなどを定めた制度づくりを行う。	来年度から開始される「あいのりタクシー事業」について、市民の実用性に対する期待度は高く、早期に全市での展開を図る必要があるため。	いじめや不登校により、学校に行けなくなり、学力低下によりその後の影響を極力少なくするため。	住みたい住んで良かった魅力いっぱい元気な浜田！を実現するため、浜田の資源の洗い出しと魅力の再構築、広く市民の意見を吸い上げて住んで良かったと思える定住環境を作り上げる。	多様性社会の推進に対して、市の取り組みを促す。	まちづくりセンターの活用を充実させる。
③背景	小学校の授業参観の際に感じる事に、子供達の集中は長く続かない。それでも決められた授業時間内は授業を受けなければならない。授業そのものに興味のない、若しくは心が上の空になっている子供達にいかにか授業内容に興味と関心を持ち続ける事が出来るか改善しなければいけないのでは無いと思う。又、授業内容の理解が出来ずに所謂、『ついていけない子』を取りこぼす事なく学べる時間が作り出せるのではないか。	勤務地の教育環境や教育レベルは家族を伴って転勤するかどうかのファクターの1つである。島根県の学力テストの平均レベルが全国平均を下回る現状の中で、浜田市の平均レベルは県平均を下回る状況にあり、改善する必要がある。学力の低下は、進路選択の幅を狭めると共に、家庭での経済的負担を増加させる一因でもある。少子化が今後も進む現状の中で将来を想定し、教育環境の維持や改善に向け後手にならないように対応を検討をする必要がある。	市民の市政離れが進んでおり、そのバロメーターとなる市長市議会議員の投票率は、17年78%、21年77%、25年71%、29年68%へと下がりが続き、新市発足以降10ポイント下がっている。制定予定の浜田市協働のまちづくり推進条例では、市民と市政との関係について、市民との協働のまちづくりを進める、地域協議会による市長への提言、地域の声を市政に反させる体制、地域課題の解決に向けた地域住民の意思を反映した予算枠の確保などにとどまり、具体的なことまで定めていない。議会基本条例の先例によると、市民と議会との関係について、請願や陳情を政策提案と位置づける、市民や市民の団体との意見交換の場を設け政策提案の拡大を図る、などとしているが、市民が政策立案にかかわることにまできていない。	新交通システムの取組について、どのような形が望ましいのか、費用対効果や実用性など議論されてきた。「相乗る」とはいえ、タクシーを利用し、市内片道500円の料金設定は稼働していけば利用度も高くなるものと考えられる。実施主体の各まちづくり委員会への働きかけや住民説明など、議会も市と一緒に、市民の利便性向上のため事業推進を図る必要がある。	憲法に保障されている「すべての子ども学習権」は特別な理念ではなく、すべての公教育に共通するもの。「どうして学校に行けないか」ではなく「どうしたら学校にこの子の居場所が作れるか」を学校だけではなく、みんなで考える必要がある。不登校が長期になると、学力への影響が懸念され、その後の進路や就職など、その子の一生に係る問題となりかねない。	市が最近よく使うキャッチフレーズ”住みたい住んで良かった魅力いっぱい元気な浜田”と市民との意識に温度差が感じられる。	ダイバーシティとは、自分とは異なる他者を受け入れ、異なる思考を取り入れていくことが、イノベーションをもたらすという考え方。企業などにおいても、「多様な人材を活かす戦略」として推進されている。条例制定などで、メッセージを明確に打ち出す自治体もある。	公民館からまちづくりセンターへの以降がなされてまだわずか。市民及び現場に勤める方々、また議員の間でも誤解や理解不足が生じている。
④課題・問題点等	クラスの子、全員に同じサポートが出来るのか？ITプログラム運営・管理の出来る人材とICT活用指導力を身に付けた教員が必要。授業時間以外で先生と生徒がどこまで何時まで相談して良いのか？インフラ整備が教育現場と保護者・生徒側の双方に求められる。	県立学校(高校)が市町内に1校の場合は先進例があるが、複数校ある場合は公平性の観点からも対応が複雑化するため対応が出来ていない。若者への政策は未来への投資でも有り、意識を変え成果に繋げるためにも何らかの政策は必要ではあるが、透明性や公平性などを確保することが課題である。	協働のまちづくり推進条例の制定、公民館のコミュニティセンター化、まちづくり推進委員会の設立などで進められるが、現状では十分機能せず、その効果を発揮せず、市民の政策関与にまで至っていない。地域協議会、行政連絡員、各種委員など行政にかかわる機関や役職があり、それらの役割の明確化、相互の関係、再編整理を含め位置づけを明確化する必要がある。	まちづくり委員会の取組に各地域で温度差があり、投げかけだけでは取組みは進まないと思う。まちづくり委員会の負担がなるべく少なくなるような働きかけが必要ではないか。	各学校の居場所づくりに合わせて、市全体での居場所や学習する場を設けることができないか。	・地域や組織においてキャリアや立場に関係なく、自由闊達な意見を建設的に議論できる場が少なくなっている。 ・魅力ある人財が育つ環境が整っているか。 ・地域の魅力ある資源が、十分に活用されているのか。	ダイバーシティを推進する姿勢が特段見受けられない。男女の分断だけでなく、他にも見受けられる同様の隔たりを包括的に議論することが重要と考える。	上記の理解不足、誤解をとき、名実ともに協働のまちづくりの拠点として活用がなされるため、活用方法について、委員会としても提案することが有効と考える。
⑤政策内容		<学校に対して> ・学校支援の人材登録制度の創設(IT技術者、部活動指導者、学校用務支援者など) ・市の施策に適合する部活動に対する活動費の補助制度(例:歴史資料調査など) <生徒に対して> ・自治医科大学の学費のように規定年数を浜田市内に就職在住したら奨学金を免除するような制度の創設。 ・高校卒業後、浜田市内へ進学就職した生徒への奨励制度	現状は請願、陳情、要望、市民の声や意見などとして市政に反映されているものの、表面的に処理されることが多く、具体的に結論を得る、政策として具体化するところまで見える化されていない。市民などが主体的、積極的に政策提案などにかかわることのできる制度、その手順などを明確にすることにより、市民が主役となる市政を実現する。市民、市、議会などの責務を明確にし、市民の市政参加の制度づくりに向け、具体化した条例制定を目指す。					
⑥参考となる先進地等	東京都千代田区立麹町中学校 2018より数学のAI型ドリル教材『Qubena』導入生徒の回答から理解度を判断して次の出題を自動選択し使えば使う程、個別最適化が進む。熊本県高森町の一部小中学でテレビ会議システムの活用で遠隔教育導入。バーチャル見学や病気療養児に対する学習指導にも使用。	隠岐海士町と島前高校(但し町内に1校のケース)津和野町と津和野高校(但し町内に1校のケース)	議会基本条例制定済み議会、条例などで具体的な「市民の参加」を定めている自治体(要調査)。	浜田市が参考とした岐阜県多治見市の「地域あいのりタクシー運行事業」	大阪市立大空小学校の「すべての子どもに居場所がある学校」の取組。	埼玉県深谷市(市民協働事業提案制度)	・北上市男女共同参画と多様性社会を推進する条例 <a href="https://www.city.kitakami.iwate.jp/life/soshikikarasagasu/chiikidukurika/tayouseishakaisuishin/3_1/13248.html">https://www.city.kitakami.iwate.jp/life/soshikikarasagasu/chiikidukurika/tayouseishakaisuishin/3_1/13248.html</a> ・世田谷区多様性を認め合い男女共同参画と多文化共生を推進する条例 <a href="https://www.city.setagaya.lg.jp/mokujikurashi/008/001/d00158583.html">https://www.city.setagaya.lg.jp/mokujikurashi/008/001/d00158583.html</a>	公民館のしあさって / 公民館のしあさって出版委員会
⑦その他		三隅火電の職員宿舍建設地の場所を検討する際に、浜田高校校区内にするか益田高校校区内にするか検討され、両校の進学成績が比較されたとのことでした。地域の教育水準は企業誘致にも関係する重要な要素といえる。	市民、行政、議会それぞれが対等な立場で、ともに市政を進めていく文化をつくることを追求する。				議会でも勉強会がされることから、これを機会に必要な取組の研究に取り組んではどうか。	牧野先生のアドバイスもいただけると尚良い。